

あの人このひと

今回は、小学校中学校の2人の先生に登場していただきました。

坂祝町の
未来のために

坂祝小学校 青木 綾花



私は、今年度坂祝小学校の6年生を担当させていただいています。11月に行われた修学旅行では、社会科の歴史の授業で学んだことを実際に見て、本物に触れる喜びを感じてほしいと思いました。12月には、クラス子ども達と一緒に、町議会の見学をさせていただきました。その頃、社会科の授業では、公民について学んでいたからです。そのため、学校で勉強したことを実際に

見て学ぶことができることを、子どもたちはとても楽しみにしていました。この1年で何度も本物に触れることができ、子ども達の深い学びにつながりました。大変貴重な経験をさせていただいたことに感謝しています。

議会見学の当日は、どのような議題が話し合われているのかというわくわくした気持ちと、自分たちが理解できる内容なのかというドキドキした思いで、子ども達は胸がいっぱいの様子でした。実際に中に入ると、厳粛な雰囲気の中で議事が進められており、子ども達も緊張感を浮かべていました。見学した場面での質問内容は、「防災計画における被災時の対応について」でした。身近な話題であり、子ども達も知っている施設名が出てくることで、議論の内容を集中して聞いていました。また子ども達は議会の様子をしっかりと記録していました。

見学後の感想には、「議会では、私たちの町をよりよくするために話し合っていることを初めて知った。」「議会での話し合いと、普段の私たちの学校での話し合いとは雰囲気が違った。私たちも学校をよりよくするために、議会のような話し合いをしていきたい。」という思いを書いていました。今回の議会見学を通して、子ども達は学校を、そして坂祝町をよりよくしていきたいと感じているように思いました。今後も坂祝小学校の教員として、坂祝町の子供たちの活躍や成長に少しでも貢献できるよう、努力していきたいと思っています。

中学生議会
を通して

坂祝中学校 山井美由華



新しい勤務先に期待を抱きながら、坂祝中学校へ車で向かった時、急な坂道に驚きました。その坂道を坂祝中学校の生徒は毎日、通っています。駆け上がって行く生徒、友達と会話を楽しみながら歩く生徒、黙々と前傾姿勢で歩く生徒、どの生徒の顔つきも明るく、そこにたくましさを感じます。2年生の道徳の授業で故郷について話し合った時、「自然が豊かで安心できる」「地域の方々

との関係が深い」と、生徒たちは誇らしげに坂祝町の良さについて語りました。

10月の中学生議会に参加させていただきました。議会に参加するにあたって、3年生の生徒から坂祝町の政策や課題に対する質問や要望を集め、それを生徒会執行委員が九つの質問にまとめました。「子供からお年寄りまでみんなが憩いの場となる広場について」「みんなが安心して通ることのできる道路について」など、自身が暮らす坂祝町をより良くしたいという願いで質問を選びました。議会当日、中学生の質問に対して町議会議員の方々が、町の現状を踏まえながら一つ一つ丁寧に答弁をして下さいました。

今回の経験は、生徒たちにとって改めて坂祝町のことを広い視野で考える良い機会となりました。また、中学生議会に携わった生徒たちの思いを側で聞き、私自身も坂祝町に対する思いが強くなっていきました。生徒たちが愛する坂祝町の発展を願い、この町で暮らす生徒たちの今後の活躍、成長の手助けができるよう、職員として努力していきます。